

Rikkyo English Online 利用状況

1. 概要

Rikkyo English Online (REO) は英語の自己自習を目的とし、立教大学の学生のみならず教職員が利用することも可能とした Web 学習プログラム (コンテンツ) となる。

2007 年の導入以降、Web サーバの拡張・仮想化、2010 年にエル・インターフェース社の Academic Express2 へのバージョンアップを経てコンテンツ・コースの追加等を実施し、学習コンテンツの充実化を図ってきた。2018 年度より、TOEFL や IELTS に対応した教材が収録され、スマートフォン・タブレットでの利用が可能な Academic Express3 へのバージョンアップを行い、学習コンテンツの充実と利便性の向上を図ってきた。

また、2023 年 4 月にはサーバ OS の Windows Server 2012 R2 のサポート終了に合わせて、増強した新サーバへ移行することで利用者への安定したサービス提供を実現している。

2. 利用状況 ※2023 年度版より、表やグラフの全体数は入学予定者を加えた数値に変更。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体	1035	832	562	119	124	411	512	237	971	1373	1663	2310
1年次 (2023年度入学)	369	84	54	48	47	53	42	33	30	22	34	51
2年次 (2022年度入学)	380	408	251	17	35	192	252	92	19	21	33	34
3年次 (2021年度入学)	156	180	129	19	13	90	108	42	9	8	13	12
4年次 (2020年度入学)	74	91	75	27	21	40	56	34	13	10	11	12
5年次以上 (2019年度以前)	55	68	52	6	8	36	54	36	5	4	4	5
入学予定者	1	1	1	2	0	0	0	0	895	1308	1568	2196

表 1: 利用人数サマリ (Rikkyo English Online)

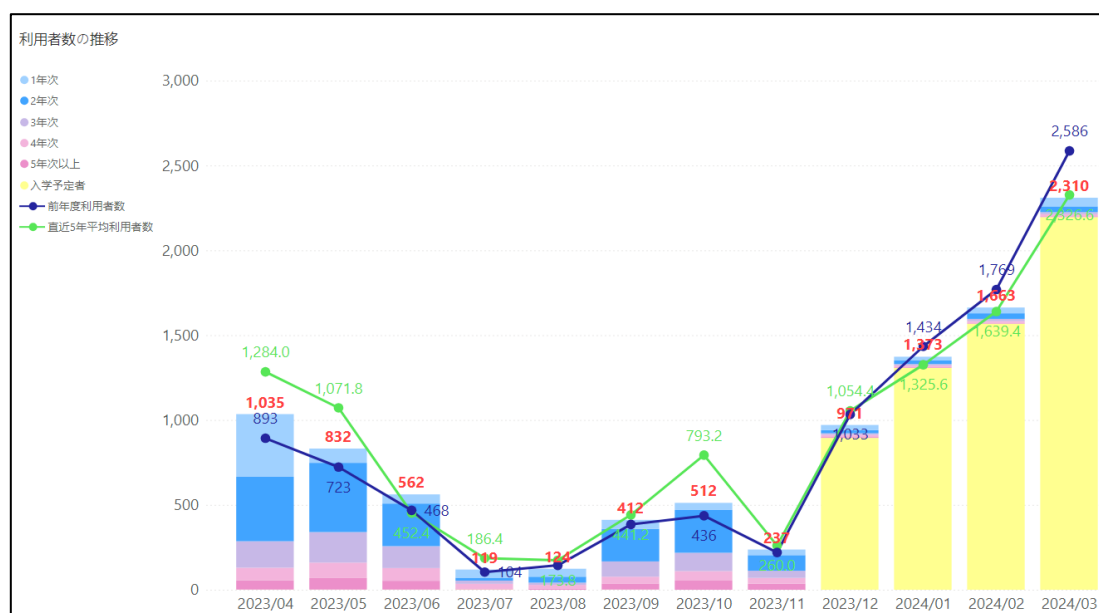


図 1: 今年度、前年度および過去 5 年の利用人数グラフ (Rikkyo English Online)

3. 2023 年度のまとめ

年間を通した利用については、例年通りの水準で英語単位認定試験（4月～6月、9月～11月）と入学予定者（12月～3月）へのそれぞれ課題出題の利用が集中していた。

年間を通して利用者が最も多い時期は例年12月～3月に行われる特別入試枠の春入学予定者に向けた入学前課題の出題となっており、それぞれの合格発表に合わせて段階的に利用者が増えている様子が伺える。3月には一般入試や大学入学共通テストの合格者へ向けた自主学習用教材として提供しているため更に利用者が急増していた。

2023年度のシステム状況については新サーバへの移行後は障害も発生しておらず、安定したサービス提供を維持できており、2024年度も引き続き安定したサービス提供が行えるよう努めていく。